

第1章
情報社会

3節 情報社会の課題と対応

1-3-2 数々の問題
(トラブル・犯罪等)

マナー・モラル・ルール

マナー: 人が円滑に接するための知恵のようなもの。
常識的な作法や礼儀。エチケット。

モラル: 生活の中で共通に理解されてる倫理・道徳観。
相手を思いやる豊かな心。

ルール: 法律・条例等。規則・決まり

インターネット: 法律ではなく、利用者の**マナー**や**モラル**の上に成り立っていた。
しかし、一般に開放されると...

情報社会の進展とともに「影」の側面が目立ち、

ルール(法律)の整備が続いているが...

今も今後も**知識・警戒心**が**不可欠**!

数々の問題(講義の内容)

関連:p122

知識 なければ **対応** できず!

- サイバー犯罪: まずは現状を知って驚くことに・・・。
 - ネットトラブル: 精神的痛手は計り知れない。
 - 迷惑メール: 種類が多い。他の犯罪を誘発。
 - ネット詐欺: Webページを使った犯罪。多発。
 - マルウェア(ウイルス): 対策必須。しかし完全防御は難!
- テクノストレス: 3種類の障害を知る。早めの症状確認を。
- 情報格差(デジタルデバッド): 今後も続く可能性あり。

サイバー犯罪の現状を知ろう(h13-22)

関連:p122

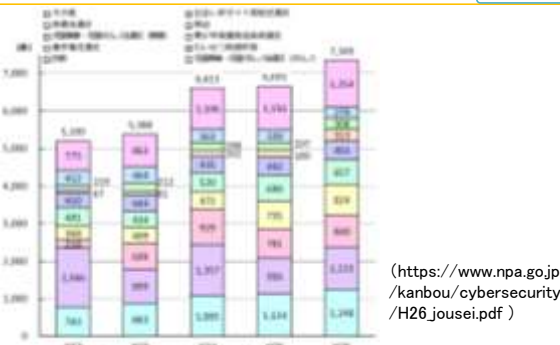
●ネットワーク利用犯罪(サイバー犯罪)

(http://www.npa.go.jp/hakusyo/h23/honbun/html/1-toku2_1_1.html)



サイバー犯罪の現状を知ろう(h22-26)

関連:p122



ネットトラブルの例

関連:p124

- 炎上(フレーミング)**
コミュニティサイト等で、書き込み等の收拾がつかなくなる状態
 - 無責任な書き込み**
誹謗・中傷・非難・個人攻撃(いじめ)・犯行予告・個人情報や顔写真の暴露等
- ※ **犯罪予告**: いたずらでも逮捕の事例多数(発信元特定: 容易)

ネットトラブルへの対応

関連:p124

問題発生時の対応・正しい行動についての考え方

- ネットでは、常に丁寧な言葉を使え。
- ネットでは相手が明らかに間違っている場合、反論しない。
炎上を仕掛ける者、楽しむ者(面白半分書き込み等)は多数!
- ネット上では、相手の表情も声の抑揚も、年齢も性別も、**実質何も見えない**。何にでも**成りすます**ことができる。
基本的に何も信用してはいけない。**金うなんてとんでもなく愚か**。
- 本名を名乗った⇒自宅の特定⇒押入に侵入された・・・という事例も不思議とは言えない。
知識不足で他の情報が漏らし続けているかも・・・。

迷惑メールの種類

迷惑メールに返信するな!

関連:p125

- スパムメール** ...勝手に送られてくる広告メール
- チェーンメール** ...多数の人に転送させることを目的としたメール
「不幸の手紙」の電子メール版のようなもの
- 架空請求メール** ...身に覚えのない請求書を送る。
- ウィルスメール** ...コンピュータウィルス付きのメール
- メールボム(メール爆弾)** ...大量のメール送信でメールサーバ内のメールボックスをパンクさせる行為

個人の対策

- メールアドレスはネットに公開しない(画像データにする等の工夫)
- メールアドレスは、不用意にWebサイトに登録しない
- 電子メールフィルタリングを利用(メールの振り分け機能)

さまざまな詐欺

関連:p126-127

- ネットショッピングやネットオークションの詐欺・トラブル
回避方法例: エスクローサービス<http://auction.rakuten.co.jp/guide/basic/flow/#safety>
- 振り込み詐欺: 身に覚えのない料金請求のこと
架空の事実を口実とした料金請求や偽の裁判通知等の文書・メール等を、郵便やネットで送付(振り込み、宅配便、郵送等で送金させる)。
 - 架空請求(不正請求): 振り込み詐欺の一種
請求ハガキ・メール、請求画面(例: ワンクリック詐欺)等。
- フィッシング
金融機関等の偽のWebサイトを作った上で、偽サイトに誘導するメールを送り、カード情報やパスワードを不正に入手する詐欺。



コンピュータウイルス(マルウェア)の概要

関連:p128-129

- **コンピュータウイルス** とは?
 - 悪意をもって作られたプログラム。
 - テータやプログラム、電子メール、Webページ、USBメモリ等から広がる。
- **コンピュータウイルスの機能**
 - ① 自己伝染機能: 他のシステムに自らの機能をコピーすること
 - ② 潜伏機能: ある時期まで、被害を及ぼさず待機すること
 - ③ 発病機能: 被害を及ぼす動作(ファイル破壊、データ流出、機能低下等)
- **コンピュータウイルスの分類**(厳密な分類はない)
 - マルウェア(広義のウイルス) { ウィルス(狭義) ● ファイルに寄生(例: マクロウイルス)
 - ワーム ● 単独のファイルとして存在
 - マルウェア(広義のウイルス) { トロイの木馬 ● スパイウェア ● ボット 等
 - スパイウェアは一般に下記①の機能をもたない

テクノストレス 情報格差

関連:p123

- **依存症**(パソコン依存症, インターネット依存症等)
コンピュータやインターネットを使用していないと不安に感じる。
※ オンラインゲーム・チャット等の中毒症状は若者中心に問題。
- **不安症**
コンピュータ使用への不安
⇒ 神経過敏になったり体調を崩したり。
- **VDT**(Visual Display Terminal)症候群(VDT障害)
ディスプレイ等の表示機器の長時間使用(VDT作業)
⇒ 目や心身に支障をきたす。
- **情報格差**(デジタル デバイド)
環境や能力によって、利用できる情報に差が出る。
⇒ 新たな不平等・・・社会全体で考えるべき課題。

補足 依存症について

関連:p123

- ◆ インターネット依存いろいろ ◆ http://www.angels-eyes.com/net_a/symp.html
ネット依存といっても依存する内容は様々。ネットの進化とともに増え続けるサービスを利用してはいるうちに、ネット・携帯依存になってしまうこともある。
予防として依存に対する知識を持っておきましょう。
依存: 日常生活(学校・家庭)に支障があるほどはまってしまい、自分の意思ではコントロールできない。またそのことによって家族や周囲に迷惑をかけた。スマホ依存・・・常にいじっている、他にすることがみつからない、イライラする、キレる。メール依存・・・メールの返信がすぐに来ないと、イライラする。常にメールが気になる。ネットサーフィン依存・・・特に用もないのに、意味もなくWebサイトを見て回る。他・・・オンラインゲーム依存 Youtube依存 facebook依存 twitter依存 チャット依存 掲示板依存 ブログ依存 ネットオークション依存 ブログ依存 mixi依存 等
- ◆ こんなウェブサイトもあり ◆ http://www.ohishi-clinic.or.jp/net_check.html
(ネット依存症チェック) http://www.kurihama-med.jp/tiar/tiar_07.html